

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年7月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674200060
法人名	社会福祉法人 伸志会
事業所名	グループホーム のぞみ
所在地	鹿児島県薩摩川内市祁答院町藺牟田2103番地6 (電話) 0996-31-8101
自己評価作成日	令和4年6月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年7月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近くには藺牟田池自然公園のある自然豊かな環境の中にグループホームのぞみがあります。ホーム内でゆったりと温泉に浸り、四季折々の自然を楽しみながら、静かな環境の中で生活されています。家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりのペースを大切にしながらも、入居者様の持てる力を発揮して頂き、家事等をスタッフと一緒にいき、出来ることを役割とすることで生活の張り合いとされるようにしています。

- ・同敷地にクリニック、隣接して同法人の特別養護老人ホーム、デイサービス、在宅介護支援センター等もあり医療福祉の連携を取り、安心して生活できる環境にあります。
- ・食事は管理栄養士作成の献立であり、栄養的には管理されています。お米や味噌、毎日の食材も地元の業者に発注し、届けてもらっています。行事食や保存食を作ることで、季節を感じて頂けるようにしています。保存食作り(梅干し、干し大根、干し柿、らっきょう漬けあく巻き等)は、入居者様の手や知恵を借りて一緒に作っています。
- ・コロナ禍でご家族との面会は、インターフォンを使用し、窓越しでの面会を行っています。外出機会は少ないですが、月2回のドライブデイと季節の花を見に出かけるなどの外出機会を設け、気分転換を図れるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は同敷地内に協力医療機関があり隣接して母体法人の特別養護老人ホームもあり、地域の医療福祉の総合拠点となっている。川内市に同法人の特別養護老人ホームや福祉施設があり、互いに情報交換や連携を取ってサービスに反映し、家族や利用者の安心に繋げている。
- ・コロナ禍の中、面会や各会議の開催も自粛している。ドライブデイを行い、工夫して生活の楽しみの継続を支援している。
- ・管理者は職員が働きやすい環境づくりや研修・資格取得に尽力し、職員関係も良好でサービスの質の向上に繋げている。
- ・地区コミュニティーセンターや市役所にも「のぞみ新聞」を置かせてもらい、地域の福祉情報発信源となるように努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をリビング等に掲示して、毎朝の申し送り時、声を出して読み上げ、言葉の意味をしっかりと受け止め、今日一日理念に近づくように努めている。	事業所独自の理念があり、玄関やリビングに掲示し、パンフレットにも掲載している。毎朝の申し送り時に唱和して、言葉に出すことで意識付けをして、その日その日の支援を実施している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現在は、コロナ禍の影響で外部の方との交流ができない状況である。	例年は法人の開催する夏祭りや運動会に地域から参加したり、学生の受け入れも行っていたが、コロナ禍で地域交流は自粛している。受診時に知人と会話したり、ドライブデイで個々にお出かけしている。支所やコミュニティセンターにホームの新聞を配布して福祉の情報を伝えている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍で実習の受け入れや地域の方々との交流が出来ていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月に1回、運営推進委員会を開催し、グループホームの取り組みや利用者様の状況等を報告している。出席の方々より、意見をいただいている。</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月毎に開催し、書面会議の場合もある。ホームの現状や取り組みを関係者へ送付したり持参して意見や要望を聞いて、運営に反映している。「重度化や終末期におけるホームの指針」の要望があり、作成した。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進委員会に、市の担当者が参加して下さっている。その中で実情を報告し、取り組み等を伝えている。</p>	<p>運営推進会議の議事録やのぞみ新聞を窓口へ持参したり、介護保険の更新の手続きや相談で窓口へ出向いて連携をとっている。グループホーム連絡協議会の研修にリモートで参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を3か月に1回行い、話し合いを実施している。委員会のみでなく常に話し合いを行い、身体拘束に繋がらないように心がけている。玄関の施錠はせず、リビングに必ずスタッフが居るようにしているが、帰宅願望が強く思いがけない行動が見られる時には、施錠をすることもある。</p>	<p>目標達成計画に人格の尊重をあげて勉強会を行い、身体拘束の具体的な行為を正しく理解している。マニュアルを基に、身体拘束廃止委員会は3ヶ月毎に実施している。言葉の拘束も含め拘束のないケアに取り組んでいる。玄関の昼間の施錠はしていない。外出希望者には敷地内を散歩することで気分転換を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修会（リモート）や会議等で虐待防止の勉強会を行い、スタッフ全員で防止に努めている。言葉の虐待にも十分注意している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修により権利擁護について学んだが、活用できるまではまだである。現在は、活用、支援にあたる利用者様はいらっしゃらない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際、ご家族への説明を十分に行い、理解、納得をして頂けるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>コロナ禍により家族会を開催することが出来ていない。面会時、家族とスタッフ間で要望等を聞き取るようにしている。</p>	<p>利用者からは日々の生活の中で意見や要望を把握している。家族からは、コロナ禍で家族会も中止、面会も窓越しであるが、面会時や電話で意見を聞いている。写真を掲載した便りを送付して意見を聞き、運営に反映している。面会簿に意見を書いてそれを対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議やケア会議で疑問点や問題点、要望等があれば意見を出し合って話し合いの機会を設けている。また反映されている。</p>	<p>隔月の職員会議や毎月のケア会議で意見がよく出る。トイレの幅が狭いため車いすを入れるのが困難で、ドアをとる等、意見を活かしている。管理者は日常的に随時個人相談も受け、シフトや研修参加の希望を聞き職場環境の改善に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の努力や実績等をはあくされ、処遇手当等の条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍で直接の研修は受けていないが、リモート研修に交替で参加している。以前よりも研修に参加する機会は減っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍で現在は殆んど交流する機会がない状況である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確認するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に本人に逢いに行き、不安な事や要望などを聞いて、グループホームの生活を安心して送れるようにしている。本人の情報を把握してスムーズに支援できるように努め、不安にならないような声かけに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時にご家族の意見、要望等を話して頂いている。また、話をよく聞いて関係作りに務めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、ご家族、施設スタッフ等にこれまでのことをよく聞いて初期対応の支援に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>野菜切り、洗濯物たたみ、お盆拭き等力量に合った手伝いをして頂いている。できることを伸ばし、共に過ごし支え合う関係作りに努めている。梅干し作りやちまき作りも出来ることころをして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	グループホームでのくらしの様子を2か月毎にお手紙と新聞でお知らせし、電話や面会等で、本人と家族の絆を深めて頂き、共に本人を支える関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で外出や知人の方との交流をすることは出来ていないが、ご家族とは、窓越し面会は出来ている。	コロナ禍で交流を自粛している。ドライブデイや買い物で楽しみを作るようにしている。知人や友人との交流に電話や手紙の取次ぎも支援している。馴染みの美容師の訪問をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格を把握し、利用者様同士が穏やかに過ごせるよう、リビングでの座席は仲の良い方や話や気の合う方が近くになるよう考え、より良い関係になるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した後の相談や支援は行っていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりに話を聞き、困っていること、不安なことを聞き出し、本人の思いを大切にしている。困難な場合は、ケア会議で本人本位に検討している。	マニュアルに沿って勉強会を開催し、日頃の会話の中で思いや意向を聞いている。意思疎通の困難な場合はしぐさや表情、発語から思いを把握し、連絡帳に記載し、家族や入居前の関係者の情報も参考に本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	暮らしてこられた環境、生活歴を崩さないよう、本人やご家族に尋ねたり、サービス利用時の様子を尋ね、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェックや様子観察で心身状態の把握に努め、生活の中で有する力を早くに見極められるように努めている。その日の体調により、一日の過ごし方を変えたりしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ケア会議で毎日の生活の中で注意すべき点や介助方法を話し合い、本人やご家族にも意見や要望を聞きながら、本人に合ったプランを作成している。	本人から日常の中で思いを聞き、家族からは電話や面会時に意見を聞き、主治医の意見やケア会議での職員の意見を参考に、現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月または必要時に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子、ケアの実践等を細かく個人録や日常生活記録に記入し、申し送り帳や連絡帳に特記事項を書き、スタッフ全員で情報の共有に努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の希望を聞き、購入したい物、不足しているものについて、家族に相談しながら、職員で購入している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナ禍のため、地域のボランティアの訪問や特養の行事への参加できていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同敷地内にあるクリニックをかかりつけ医にして頂き、定期受診や早期受診と治療に努めている。</p>	<p>利用者全員が協力医療機関の主治医となっている。月2回の訪問診療があり、早期受診や治療等、適切な医療を受けている。緊急時は当番医または救急車を依頼している。受診内容は、連絡帳や受診記録に記載し、情報は共有している。他科受診は職員が同行している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員がいないので、日常の関わりの中で気づいたことは、かかりつけ医に相談し。適切な受診が受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>管理者が病院関係者と情報交換や相談をしながら、利用者様が、安心して治療が出来るように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期ケアはしていないため、そのような状態になられた時には、ご家族や本人と話し合いながら、利用者にとって何が一番良いかを考えて支援している。</p>	<p>契約時に「重度化や終末期に向けた方針」と「グループホームのぞみQ&A」について説明し同意書をもっている。状態変化に伴い段階的に医師が本人や家族に説明し、希望に沿いながら情報を共有し、支援をしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>コロナ禍でAEDの講習会を受けられていない。応急手当や初期対応の実践が身につけているのか不安である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月の通報訓練と年2回の火災時（昼間、夜間）、水害時の避難訓練を行っている。地域の方や消防団にも参加して頂いている。</p>	<p>年1回消防署の指導の下、火災訓練・水害訓練を地域住民が参加して実施している。もう1回は自主訓練を行い、毎月通報訓練もしている。地域住民には避難場所での見守りを依頼している。避難場所は小学校である。備蓄は水・米・缶詰・レトルト食品等が3日分準備している。ライト付きヘルメットは職員と利用者全員分があり、発電機もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉かけはその方のプライドを傷つけないように心がけているが、大声になったり、上から目線の声かけになったりしている。周りの方にも、気を配った声かけや支援を行うように努めている。</p>	<p>マニュアルがあり、毎月のケア会議の中で勉強会を実施し、プライバシーや個人情報について目標達成計画にも組み込んでいる。入浴・排泄・入室時の言葉かけに注意し、声のトーンにも心がけている。申し送りは利用者がいないときに部屋番号で行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常生活の中で服選び、レクリエーションの内容、入浴の有無等様々な場面で自己決定が出来るように働きかけている。自己決定に努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切に、体調や気分に合わせて一日を過ごして頂けるようにしているが、スタッフの都合になってしまうこともある。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>訪問理容で定期的に散髪して頂き、好みの髪型して頂いている。毎朝のブラッシングや顔にクリームを塗られる、服装の整え等支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様が楽しんで食事が出るよう行事食を提供している。野菜の下ごしらえや野菜切り、食後の食器洗い、お膳拭き等を個々の力を活かし、スタッフと一緒にやっている。	法人の管理栄養士の献立により旬の野菜を使って職員が調理している。敬老会・花見・ひなまつり・クリスマス等の行事食や誕生日は希望に応じた食事を提供している。種々の混ぜご飯も楽しんで食べている。お膳拭きや野菜の皮むき等や保存食も職員と一緒に作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の立てた献立があり、栄養バランスは確保できている。ミキサー食、刻み食、トロミ使用等、一人ひとりの状態に合わせて提供している。日常生活記録に食事摂取量、水分摂取量を記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態や力量に応じた口腔ケアの支援を行っている。夕食後のケア後に、入れ歯洗浄剤を使用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄チェック表をもとに排泄パターンを把握して昼間は声かけや誘導によるトイレでの排泄を支援している。便秘薬服用時は時間を見て、声かけしトイレで排泄出来るよう、またズボンの上げ下げ介助で、失敗されないように気をつけている。	排泄チェック表から個々のリズムを把握しトイレ誘導している。自立に向けてトイレでの排泄支援を行っている。状況に応じて夜間はポータブルトイレを使用する場合もある。入所時のリハビリパンツからトイレ誘導で布パンツやパットのみの使用になり、改善する利用者が多い。個々に応じ排泄用品の工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、水分をしっかりと取って頂き、朝食前の牛乳、10時のヨーグルト摂取で予防に努めている。毎日排便チェックをし、服薬や坐薬を使用し調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決めており、スタッフの都合になってしまっているところもあるが、ゆったりした気分で入浴して頂けるように気をつけている。便失禁や体調不良時などその時の状況で入浴支援している。	隔日入浴であるが希望があれば毎日入浴も対応している。温泉の為、入浴剤は使用しないが冬至のゆず湯は行っている。入浴拒否者は時間をずらして声かけしたり、後日に変更したりしている。汚染時はシャワー浴をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとり、好きな時間に休んで頂き、安心して休めるように照明や室温、湿度に気をつけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的、副作用等の説明書を確認して、理解に努めている。誤薬のないようにスタッフ二人で確認し渡している。変更があった時には、状態の変化に気をつけ、服薬にはしっかりと飲み込まれているか確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	茶碗洗い、お膳拭き、洗濯物干し、洗濯物たたみ等一人ひとりの力量に合った役割の支援をしている。折り紙や工作、ぬり絵等好きなことへの取り組みを支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの希望に添っての外出は出来ていないが、天気の良い日は敷地内を散歩したり、花を見たりしている。月2回のドライブディで季節の花を見に行ったりと楽しんで頂いている。	コロナ禍で季節行事の外出は自粛している。月2回ドライブディで季節の花のコスモス・桜・銀杏等を見物に行ったり、天気の良い日は広い敷地内の散歩は日常に行っている。年間行事計画が作成されているので、終息すれば再開する予定である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を持つことの大切さは理解しているが、本人が所持したり、使ったりは出来ない。コロナ禍のため、お茶飲みの外出も出来ないためお金の支払いの機会もない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望があれば電話をして頂き、また電話があれば取り次ぎ話をされている。贈り物が届いたらお礼のでんわをされている。年賀状や暑中見舞いを書かれ送られている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁には季節感を大切に飾りつけや利用者様の作品や行事の写真を掲示している。玄関やリビングに季節の花を生けたり、鉢植えのはなを飾っている。温度、湿度にも気をつけ、コロナ禍で換気にも十分気をつけている。	リビングは広くて明るく、壁面には行事写真や利用者の作品を掲示し、花を飾り季節感を大切にしている。対面式キッチンで利用者の行動も見えている。空気清浄器・加湿器・除湿器・エアコンを設置し、温度や湿度・換気に配慮している。利用者はソファ等の好みの場所でくつろいでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングのソファやテーブル自席等、個々の好みの場所に座られ、TVを見たり、会話をされたりそれぞれ過ごされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の使い慣れたタンスや布団を持ってきて頂いたり、家族の写真やぬり絵等を飾り居心地よく過ごされる工夫をしている。</p>	<p>全室畳部屋で居室入り口に、本人の写真と名前を掲示している。エアコンやベッドを設置し、個々にテレビやタンス・家族写真・本人の作品を飾り、寝具等、好みのものを持ち込み、居心地よく暮らせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>動線には手すりがあり、トイレ、居室、風呂の場所の目印をしている。歩行時に邪魔にならないよう、置物は最小限にしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない